



学校教育目標 「自立・協働・創造」

◎人権参観日 ご参観ありがとうございました！

2月2日(金)は「人権参観日」でした。各学年、それぞれのテーマにそった人権教育の授業を公開しました。

1年生は「インターネットによる人権侵害」、2年生は「災害と人権」、3年生は「同和問題」。授業を通して、「人権」の大切さを再確認してくれたことと思います。

人権とは、「人々が生存と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利(文部科学省ホームページより引用)」です。人間が、人間として、幸せであるための大切な権利であり、全ての人に、平等に与えられるべき権利です。

それでも現実には厳しく、社会に目を向けると、戦争や災害、飢餓、等々、様々な人権課題が未解決のままであることに心が痛みます。

私たちにできることは、何だろうか？

まずは、「正しいこと」を学ぶこと。そして、目を背けずに「考え、行動する」ことだと思います。清水中学校の全ての人々の人権は、守られているのでしょうか。これからも、みんなで学び合い、考えていきたいですね。



2年生
「災害と人権」より

お忙しい中、参観に来ていただいた保護者の皆様、ありがとうございました！

◎キャリア教育講演会 ～想像、そして感動～

2月5日(月)、本市にゆかりのある脚本家、久松真一さんが「想像、そして感動」と題して、清水中学校の生徒に向けて講演をしてくださいました。

数々のヒット作を生み出してきたプロの話を生で聞ける、またとない機会。久松さんは、ご自身が影響を受けた劇作家の井上ひさしさんが残した「自分という作品を作っているつもりで生きなさい」という言葉を教えてくださいました。そして、自分の好きなことを、ただひたすらに追い求めていくことが夢の実現につながるということ。また、想像することは、優しさがなければできないことであり、その優しさが感動を生むのだということなど、心に響くメッセージをたくさん伝えてくれました。

久松さん、ありがとうございました！

◎地域のみなさんと意見交流！

2月2日(金)に「開かれた学校づくり推進委員会」と「学校運営協議会」を開催しました。この会では地域を代表するみなさんと、生徒会執行部が意見交換を行いました。

生徒会執行部が自己紹介と学校紹介のプレゼンを行った後、地域の方たちからたくさんの質問が投げかけられました。

- ・人権参観日の授業を受けて考えたことは？
- ・高校進学について決めている？
- ・執行部になる前と後では、意識が変わった？ などなど…。

執行部のみなさんは、どの質問にも誠意をもって、自分の言葉で答えてくれていました。そして、自分たちが力を入れて取り組みたいことの一つとして、「地域との連携」を挙げてくれました。地域の方たちは、執行部の表現力や対応力に感心していました。

委員のみなさん、ありがとうございました。これからも清水中学校の応援を、よろしくお願ひします！

◎地域のお祭りに参加していますか？

昨日、鹿島神社保存会から届いた「令和6年度鹿島神社春季例祭」のお便りを配布しました。

みなさんは地域のお祭りに参加していますか？

近年は多くの地域で少子高齢化が進み、神輿(みこし)の担ぎ手不足や、祭りの継承者減少等に悩んでいるという声が聞かれます。私の住んでいる地域(四万十市)も同様で、ここ数年、お神輿は神社の中に眠ったままになっています。

お祭りは、地域の大切な文化であり、地域とつながる貴重な機会です。ぜひ、清水の一員として、地元のお祭りに関心を持ってください。地域のお祭りを盛り上げることも、立派な地域貢献だと思います。



みんなで記念写真を撮りました。